広告

現場のいま、そしてこれから。

スポーツと企業「引き継ぎの本質」

沖縄の未来つなぐ

M&Aキャピタルパートナーズ
武富 尚紀 企業情報部長

たけとみ・なおき　埼玉県出身、浦添市在住。みずほ銀行にて上場・未上場企業への融資業務および事業承継関連業務を中心に従事。MACP入社後は、主に設備工事業界、スポーツ関連業界、ITソフトウエア業界の他に上場企業グループのカーブアウト案件に関しても複数の成約実績を重ねている。沖縄地域担当。浦和レッズユース出身。

変化恐れず、前へ

FC琉球OKINAWA
平川 忠亮 監督

ひらかわ・ただあき　1979年生まれ、静岡県出身。現役時代は浦和レッズ一筋で17年間プレー。中心選手としてJリーグ制覇や2度のACL優勝など数多くのタイトル獲得に貢献。2018年の引退後は浦和のトップチームコーチやユース監督を歴任。25年、FC琉球の監督に就任。

J2復帰を目指し、新たな体制で突き進むFC琉球OKINAWA。現場の舵取りを担うのは、昨季就任し、クラブのフィロソフィーを引き継ぐ平川忠亮監督です。一方で、クラブの経営基盤を支える大きな転換点となったのが、面白法人カヤックへのM&Aでした。このM&Aを仲介し、クラブの「未来」をつないだ立役者であるM&Aキャピタルパートナーズ企業情報部の武富尚紀部長と平川監督が、スポーツとビジネスにおける「引き継ぎ」をテーマに対談しました。これまでの歴史や組織のDNAを尊重しながら、いかに独自のカラーを加え、次なる成長へとつなげるか。プロチームの再生と企業の事業承継という、異なるフィールドで「引き継ぎ」に向き合う両者が、共通するリーダーの心得や信頼構築の要諦を語り合いました。組織の命運を分ける「バトンタッチ」の本質に迫ります。

前の組織から"守る"部分と"変えた"部分

―監督は昨季からFC琉球OKINAWAを率いています。チームを引き継いだ時、どんなことを感じましたか。

平川　ボールを保持しながら攻撃する、非常に攻撃的なチームという印象がありました。FC琉球は沖縄で唯一のJリーグチームです。県民がプロサッカーに触れる唯一のチームでもあるので、沖縄の子どもたちの目標になれるような、常に子どもたちに夢を与える存在でなきゃいけないと思いました。

―引き継いだ時に守らなければならないと思ったのはどのような部分ですか。

平川　攻撃的な姿勢やボールを奪いに行く姿勢です。子どもたちが応援する声が響くスタジアムというのもなくしちゃいけない。だから、子どもたちを含む県民、サポーターが見て楽しい、ワクワクする部分はなくしちゃいけないと強く感じました。

―逆に、あえて変えたところ、ここは改善しなければならないと思ったところはありますか。

平川　守備の部分の構築は必要だと感じました。ただ固く守るのではありません。今季のスローガンに「前へ」と掲げていますが、奪いに行く守備の回数を増やしたい。走るアグレッシブな守備にチャレンジしたいです。

事業継承の視点で読み解く

―武富さんは事業承継、M&Aの仲介という立場で企業の「引き継ぎ」に関わっています。

武富　平川監督がやられているいいものを認識した上で、さらに伸ばしていく。足りない部分は新しく入ってくるメンバーなど、組織で補うというのはスポーツチームも企業の「引き継ぎ」も共通していると感じました。昨季のFC琉球の試合は毎試合見ていましたが、攻撃的な姿勢はそのままに、セットプレーを戦略的に仕掛けるなど、変わってきた部分もありました。そのためのコーチもつけ、足りない部分を組織で補っています。

平川　「引き継ぎ」は元々あるいいものを変えずに、新たにくっつけて作るという作業ですが、変化を恐れちゃいけないという部分もあると思います。いいところを残しながらも、成長するための変化を止めずにやっていくことだと思います。

「引き継ぎ」は準備が9割

―FC琉球は24年にM&Aで面白法人カヤックが筆頭株主となりました。武富さんはその仲介担当者です。

武富　前オーナーからの引き継ぎをお手伝いさせていただきましたが、クラブ経営の仕方はもちろん、これまでの「つながり」を丁寧に時間をかけて引き継がれていました。組織は人でできているので、人のつながりの部分の引き継ぎはとても重要です。「引き継ぎは準備が9割」と言われますが、理想的な引き継ぎだったと思います。

―引き継ぎの準備が足りない場合、どのようなリスクがありますか。

武富　一般的な企業組織では、従業員の離職や大事な取引先との取引解消につながる恐れがあります。従業員の皆さんは元の代表の方を慕って入社されていたり、継続して勤務されていたりするので、その方がいなくなるのはやはり大きい。次世代につなぐ関わり方が非常に大事になってきます。特に創業社長の場合は強い思いを持っている方が多いので、引き継ぎはより丁寧さや工夫が必要になってきます。

応援される組織作り　リーダーの心得

―監督が在籍していた浦和レッズは熱いサポーターがいて、地元からも非常に応援されているチームです。その環境で育ってきた監督が考える応援される組織、チームに必要なものは。

平川　応援される存在になるために大事なものは、まず応援する気持ちだと思ってます。「される」だけを望むのではなく、地域のために、まちの誇りのために戦わなきゃいけない。FC琉球も応援される存在になるためには、沖縄のためにという気持ちを持ち続けなければいけない。沖縄のために何ができるのか、そして沖縄県民、ファンやサポーター、関わる全ての人に対して、自分が何ができるかを考えて行動しなきゃいけないと思います。

―多くの企業を見ている武富さんにも聞きたい。

武富　一番大事だと思うのは本気になって、対象を好きになることです。私は企業様同士をつなぐ仕事をしていますが、まずは譲渡される企業をよく知り、どういった点が優れていて魅力なのか、今後逆にどういったところを伸ばせばより成長できるかというのをお伝えする仕事でもありますので、まずはその企業を本気で好きになる、応援することを大切にしています。

今季の意気込み

―今日2月8日、FC琉球は開幕戦に挑みます。今季の意気込みを。

「沖縄は特別な地」と話すFC琉球の平川忠亮監督

高いモチベーションを保つには

―高いハードルを課すことになりますが、選手の心を一つにしたり、モチベーションを上げたりする方法はあるのでしょうか。

平川　まずは監督、スタッフが本気で選手に向き合うことです。僕たちが本気でJ2昇格を目指すという姿勢を日々の練習から選手たちに見せられるかどうかです。その姿を見て、選手たちが本気になるのだと思います。あとは監督、スタッフがいかに選手たちに信頼してもらえるかも大事になってきます。

「始まりの日」に

―今日のような「始まりの日」に何を考え、挑んでるのかを教えてください。

平川　楽しむことです。選手にも「楽しむことを大事にしてほしい」と伝えてます。まず僕自身が百年構想リーグ、26―27シーズンを楽しみ、選手、スタッフみんなが楽しそうにプレーをする。それがファン、サポーターをワクワクさせ、FC琉球を応援することの楽しさにつながると思います。

武富　自分に期待することと、自分の所属する組織に期待することです。自分に期待が持てればワクワクもしますし、自分がワクワクしていればそれが伝染して周りの方々も楽しめます。

個人もそうですが、私の部のメンバーにもお客さまと事業承継やM&Aのお話しをする上で、生まれる新しいグループに期待感を持ってもらえるような環境作りやつなぎ方を心がけています。

沖縄への想い

―それぞれの立場から沖縄にかける思いを聞かせてください。

平川　元々沖縄が大好きで、家族でもよく訪れていた特別な地でした。現役時代にけがをしたり、落ち込んだりしたときにも沖縄に来て、いろんな人と会って助けられたこともあるので、サッカーを通じてお返ししたいと強く思ってます。1試合でも多く勝利を届けて、皆さんと一緒に喜んで、お酒を飲みながらサッカーの話をしたいですね。

武富　沖縄は経営者の約三分の二が後継者不在という事業承継に課題を抱えた地域でもあります。M&Aは企業を強くする方法の一つでもあります。私の場合、M&Aを通じて、沖縄の企業を強くし、沖縄経済の発展に寄与できたらと思います。

―監督からサポーター、ファンの皆さんに一言。

平川　昨シーズンは苦しい結果の中で、ファン、サポーターの皆さんに助けてもらいました。これからのハーフシーズン、そして26―27シーズンは、より一緒に楽しめるサッカーを展開していきたいと思っています。「去年より面白いよ」と言ってもらえるように頑張るので、ぜひスタジアムに足を運んで、応援していただけたらと思います。

―武富さんから沖縄の経営者の皆さんにお伝えしたいことを。

武富　企業の引き継ぎである事業承継は、企業自体の存続に関わるとても大切なことです。特に沖縄は親族のつながりがとても強い点が事業承継にプラスである一方、株式の分散などの課題も見られます。今は大丈夫と考えていても事業承継という問題は、いつご自身に訪れるかわかりません。そのような中、重要なのが「早期の情報収集」です。私たちはM&Aの仲介をしていますが、沖縄のすべての企業にM&Aが一番いい選択肢とは限りません。親族承継・従業員承継など他の選択肢も含め情報収集していただき、比較検討していただくためにも、まずはお気軽にご相談いただければと思います。

同じJクラブ出身、憧れの平川監督と対談したM&Aキャピタルパートナーズの武富尚紀企業情報部長

FC琉球、きょう初戦　J2鳥栖と

対戦スケジュール　□ホームゲーム

2	8[日]	サガン鳥栖	沖縄県陸
	15[日]	鹿児島ユナイテッドFC	白波スタ
	21[土]	レイラック滋賀FC	沖縄県陸
	28[土]	テゲバジャーロ宮崎	沖縄県陸
3	8[日]	ガイナーレ鳥取	Axis
	14[土]	レノファ山口FC	沖縄県陸
	21[土]	大分トリニータ	クラド
	29[日]	ギラヴァンツ北九州	ミクスタ
4	4[土]	ロアッソ熊本	沖縄県陸
	12[日]	レイラック滋賀FC	ハトスタ
	18[土]	ギラヴァンツ北九州	沖縄県陸
	25[土]	大分トリニータ	沖縄県陸
	29[水]	レノファ山口FC	みらスタ
5	3[日]	鹿児島ユナイテッドFC	沖縄県陸
	6[水]	テゲバジャーロ宮崎	いちご
	10[日]	ロアッソ熊本	えがおS
	17[日]	ガイナーレ鳥取	沖縄県陸
	23[土]	サガン鳥栖	駅スタ

M&Aキャピタルパートナーズ株式会社

完全独立系・東証プライム上場のM&A仲介専門会社。2005年の創業以来、事業承継に限らず、成長戦略としてのM&Aまで、幅広なニーズに対応しながら、数多くのオーナー経営者を支援している。売り手・買い手双方の手数料を同一とし、実際の株式取引額に基づく「株価レーマン方式」による公正な報酬体系を採用している。また、全国の地方新聞社と連携し、"事業承継・事業成長の選択肢"を広める「地域共創プロジェクト」も展開。25年7月には琉球新報社と共に同プロジェクトを始動し、後継者不在や経営者の高齢化といった地域課題の解決に取り組んでいる。

企画・制作　琉球新報社統合広告事業局

M&A CAPITAL PARTNERS
決心に、真心でこたえる。
JPX PRIME
弊社は着手金や月額報酬をいただくことなく、
お相手企業と基本合意にいたるまで無料でご支援いたします。
譲渡・譲受のご相談はこちら（無料）
TEL 0120-810-000　受付時間（平日）10:00～18:00
M&A キャピタルパートナーズ株式会社
https://www.ma-cp.com/
〒104-0028　東京都中央区八重洲二丁目2番1号
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー36階